

第6回
気高地域振興会議

日 時 平成27年11月19日(木)

午後1時30分から4時

場 所 気高町総合支所 会議室

〔出席委員〕

横田昭男会長、池長綾子副会長、西尾雅彦委員、堀尾富男委員、池原隆秋委員、
田中敦志委員、水津文恵委員、三澤秀正委員、米田克彦委員

〔欠席委員〕

松本弥生委員、荒尾純子委員、下村益雄委員

〔事務局〕

鈴木敏支所長、橋本浩之副支所長、山本正信産業建設課長、村上郁恵市民福祉課長、
中原登地域振興課課長補佐

〔政策企画課〕

太田課長、細谷主任

〔都市企画課〕

河田主査

〔交通政策課〕

中村課長、竹中主幹

〔傍聴者〕

なし

◎会議次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 協議事項
 - (1) 第10次鳥取市総合計画(素案)について
 - (2) 簡易水道料金の改定について

(3) 鳥取市都市計画マスタープランの見直しについて

(4) 鹿野・気高地域のバス運行について

(5) 公共施設における再配置の検討状況について

4 報告事項

(1) 鳥取市西部地域の地域振興会議の意見書に対する本市の取り組み状況等の回答について

(2) 基幹公民館について

5 その他

6 閉会

◎議事概要

1 開会

2 あいさつ

3 協議事項

(1) 第10次鳥取市総合計画(素案)について

(会長) 早速ですが、協議事項に入らせていただく。第10次鳥取市総合計画(素案)について、政策企画課の太田課長に説明をお願いします。

[資料1に基づき説明(略)]

(会長) 委員の皆さんからご意見、ご質問があればどうぞ。

(委員) 中核市への移行により財源の事はまだ詳細がはっきりとしていない状況だと思うが、歳入の見通しを出しているのは疑問に思う。

(事務局) 中核市になり権限が委譲され、一時的に保健所の設置による歳出の人件費が増加する見込み。また、新庁舎建設、工業団地整備などがあり増加する年度もあるが、その後は多少の増減はあるものの、このような見通しを立てている。指摘の点は持ち帰り検討したい。

(委員) コンパクトシティの表現の仕方が、この計画の素案と都市計画マスタープランでは、少し違うようだ、同じではないのか。

(事務局) 整合性を持たせるため見直しをしたい。

(委員) 要望として、公共施設の統廃合について、統廃合は仕方がないことかもしれないが、地域が寂れないように無くなった後の振興策をぜひ実施計画の中に盛り込んでほしい。

(委員) 待機児童の数を「0人」が目標に挙げられているが、すべての児童が保育園に入れるか。

(事務局) 担当課に照会する必要があるが、保育に欠ける児童が保育園に待機なしで入れることだと思う。保育に欠けない児童は話しが違うと思うので担当課に確認したい。

(委員) 意見として聞いてほしい。人口減少を迎えているが、子どもが2人、3人と増えると子育てが大変に感じ、子どもを産まない家庭が多い。特に祖父母などがいない家庭では親の負担が大きいようだ。人口増加対策として、そういう家庭の子どもは保育に欠ける児童として扱うという方針を市は出すべきではないか。

(2)簡易水道料金の改定について

(会長) 協議事項の2番目の簡易水道料金の改定について、気高町総合支所の産業建設課の山本課長に説明をお願いします。

[資料2に基づき説明(略)]

(会長) 委員の皆さんからご意見、ご質問があればどうぞ。

(委員) 今後、上水道となり、さらに水道料金が上がれば、温泉施設の経営は苦しくなるのではないかと。家庭では節水に努めることができるが、お客様があるところはそうはいかないので何か措置はとれないものか。

(委員) 工業用水も同じで、何か緩和措置をしていく必要がある。

(事務局) 今回の改定は、合併協定に基づくもので、段階的に見直しを行っている。今後においても、料金改定を考えていく必要がある。

(3)鳥取市都市計画マスタープランの見直しについて

(会長) 協議事項の3番目の鳥取市都市計画マスタープランの見直しについて、都市企画課の河田主査に説明をお願いします。

[資料3に基づき説明(略)]

(会長) 委員の皆さんからご意見、ご質問があればどうぞ。

(委員) 多極型コンパクトシティをめざして、このマスタープランの見直しを行うことにより、我々の生活はどのようになるのか。

(事務局) 地域の拠点に施設を集約し、徒歩や公共交通機関を使って生活できるような効率的で利便性の高いまちづくりを進めたい。

(委員) 3 ページにある「居住誘導区域」とは、公共施設が集約された地域に人を誘導して住んでもらうことなのか。また、総合計画の基本構想には、「住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり」とあるが整合性がとれるのか。

(事務局) 居住誘導区域は、立地適正化計画に位置づけるもので、人口密度の高い市街地を中心に計画が策定される。この区域指定により、強制的にするものではなく、誘導していきいたいと考えている。

(委員) 中心市街地だけがどんどん便利になる計画ではなく、周辺部にも配慮が必要だと感じる。それぞれが融合するように考えていただきたい。

(委員) 地域には、動くが眠っている自家用車が多くあるようなので、これを活用して高齢者が移動しやすい環境づくりを考えていただきたい。また宝木駅、浜村駅へ子どもを毎日送迎するのは大変だ、なんとか手立てをしてほしい。

(4) 鹿野・気高地域のバス運行について

(会長) 協議事項の4番目の鹿野・気高地域のバス運行について、交通政策課の中村課長に説明をお願いします。

[資料4に基づき説明(略)]

(会長) 委員の皆さんからご意見、ご質問があればどうぞ。

(委員) 支所のホームページにバスダイヤが掲載されているがかなり古い、更新すべき。

(事務局) 対応する。

(委員) JRとの接続は考慮しているのか。

(事務局) 午前中は鳥取行きに、午後は鳥取からの帰りの便を考慮している。

(委員) 料金は、1回200円だが、乗車距離が短い場合は割高に思う。くる梨バスのように100円の設定も必要だ。

(事務局) 運行収入が減り運行が難しくなることや議会の了解も必要であり、即答はできない。

(委員) このダイヤ改正の時期は何年程度で改正しているのか。

(事務局) 2年程度の間隔で、JRのダイヤ改正や地域の皆さんの要望を受けて見直しをしている。

(5) 公共施設における再配置の検討状況について 25.10

(会長) 協議事項の5番目の公共施設における再配置の検討状況について、財産経営課の梶課長に説明をお願いします。

[資料5に基づき説明(略)]

(会長) 委員の皆さんからご意見、ご質問があればどうぞ。

(委員) 浜村温泉館は来年4月より当分の間休止となるようだが、期間を定めて調査なり改修をすべき。浜村温泉の利用を図る上でも残してほしい。

(事務局) 予算が伴うことなので、はっきりとは言えないが、施設の点検、調査を行い、方向性が決まり次第、公表していきたい。担当課に要望として伝える。

(委員) 施設が継続できるように、情報収集や他団体と連携を行うなど要望活動をしていきたい。

4 報告事項

(1) 鳥取市西部地域の地域振興会議の意見書に対する本市の取り組み状況等の回答について

(会長) 報告事項の1番目の鳥取市西部地域の地域振興会議の意見書に対する本市の取り組み状況等の回答について、総合支所の鈴木支所長に説明をお願いします。

[資料6に基づき説明(略)]

(会長) 委員の皆さんからご意見、ご質問があればどうぞ。

(特になし)

(会長) 特になければ、次に移りたい。

(2) 基幹公民館について

(会長) 報告事項の2つについて、橋本副支所長に説明をお願いします。

[資料7に基づき説明(略)]

(会長) 委員の皆さんからご意見、ご質問があればどうぞ。

(委員) 気高町中央公民館が、来年4月から気高コミュニティセンターに変わる予定だが、施設内ではこれまで許可されていなかった飲食はどうなるのか。

(事務局) 施設内での飲食は可能となる。ただし、調理については、調理室で行うことが条件。アルコール類も基本的には可能である。

(委員) 利用状況からまだ空いている時間、部屋があるので、どんどん使っていくことは賛成だ。総合支所の耐震化問題も関係するかもしれないが、今後も施設が残るようにして

ほしい。

(事務局) 総合支所の移転の関係もあるが、現在の施設は、浜村地区公民館が入るコミュニティセンターとして、耐震補強は必要だと考えている。

(委員) 今後、営業活動に使用できるのであれば、利用できる時間帯はどうなるのか。また、今後、総合支所と同居することになれば、飲酒ができる施設と総合支所が同じ建物に入るのはいいか、考え方を聞きたい。

(事務局) 開館時間は、現在のとおり午後10時までを考えている。総合支所のあり方について、中央公民館に移転する案、保健センターに移転する案、現在の施設を耐震補強する案など複数考えており、まとめ次第、合わせて説明したい。

5 その他

特になし

6 閉会

(会長) 以上、会議は終了します。